



どうか
この世に平和を
もたらして
くれ給え

白の聖女
ソレーヌよ
そなたに勇者と
共に魔王討伐を
命じる

はい、
御身のままに…



聖女と呼ぶに
相応しい

おお
ソレーヌ様
あの至高な
姿を見よ



この身を
捧げてでも

必ずしも
人々に平和を…!

ソレーヌ
早く
出発しよう



その純白の聖女様も
こんなにエロい体を
持っていたわけだ。

…で、



好きなだけ
吠えなさい、
この外道

私はこんなことに
屈服しません



これからその
汚れを知らない顔が
どう変わるのか
楽しみだ

けけけ
そうだな

さすが聖女様だ





か、体が……

女、女……

女……

おやおや？

どうした、聖女様よ？

ちよい先までの
凛々しい顔はどうした？

体が熱い……！！

早速
情けない
顔しやがって……

ドクッ

ドクッ

はっ

ぐちゃん



声も
甘くなっ
て
いるぞ？

こんなの...
どう耐えれば...？

暴力的きな
快楽！

おおっと

はあっ

意外と
まんこだな

さあさあ
次に
いきましようか

こんなの
入れちやったら…

や、

やめなさい

こやつは魔界に
住んでいる淫虫でな

ひん
か
な
あ

また…!!

女性の中で暴れるのが
大好きなやつだよ





まだいって...

ど...ど...

どうしてこんなが
気持ち良いものが
入ってきたのにな
自分はいかなかったのか

おかしいんだろう？

えい？

はあ...

はあ...

ふ、ふさける...

先刻んだ
淫紋の効果だよ

それはな

ふあ...

なっ

とんだけ
気持ちよくなっても、

とんだけ
いきたくなくても

俺様でなければ
絶対に絶頂できない

こういうことをしても
俺様が直接
手を触れたわけでは
ないからいくことは
できない

そんな……

勿論

くイッ

ハラハラッ



当然、俺様は静肅な聖女様をいかすつもりはねーよ

さて

絶頂のない快樂地獄へようこそ





三時間ちょっとか…

ない表情に
なっただけ

そろそろ
欲しい物が
できたと思うが…

ふざけ
ないでください…

私が…
折れることか…？



いいぜ
それでこそ
聖女様...

ちよっ...

ま...
待て
待ちなさい...

簡単には
落とせない

ズル
ズル
ズル

まあ...
時間は呆れるほど
あるからな

次に会う時も
そんな姿でいることを
期待するよ

あひゃあ
あひゃあ
あひゃあ

キィー